

Year_

1973

model_

NISSAN SKYLINE GT-R

日産/スカイラインGT-R



先代（箱スカ）GT-Rはリアのみだったリベット留めのオーバーフェンダーをケンメリGT-Rはフロントにも標準で装備する。グリルメッシュやブラックペイントのミラーもGT-R専用装備だ

004



当時から四連のテールランプが並ぶリアビューに憧れた人も多かったはず。前述のオーバーフェンダーだけでなくリアスポイラーも標準装備だった。いかに当時のGT-Rが異端の存在だったかが判る

VINTAGE CAR_004

幻のエンジンを搭載した 幻のケンメリGT-R。

Text&Photo/D.Katsumura 勝村大輔

日産スカイラインにS20型2リッターユニットを搭載したスペシャルモデルが'69年に登場したスカイラインGT-Rだ。その後'72年にモデルチェンジを果たしたスカイラインは、通称「ケンメリ」と呼ばれるC110系となるが、このC110系にもS20エンジンを搭載したGT-Rが翌年に開始される。排ガス規制の施行前のたった3カ月のみ販売され、総生産台数197台のうち195台が市販された。そのためケンメリGT-Rは生まれもって“幻の”という枕詞を背負って誕生したモデルな

のだ。そんな貴重なC110型GT-R(KPGC110型)のなかでも、ここに紹介するのは、日産純正のギアトレイン（タイミングチェーンに替わってギアでカムを駆動するシステム）を組み込んだ通称「無番ヘッド」と呼ばれる識別番号を持たない、またもや幻のヘッドを搭載したエンジンを搭載した個体。ボディのレストレーションはGT-Rレストアの某オーソリティが関わっており、仕上がりは完璧。幻のケンメリGT-Rの中でもさらに幻という希少性の高い一台なのだ。

ダッシュ周りも美しくレストアされる。当然クーラーなどの快適装備は一切備わらない



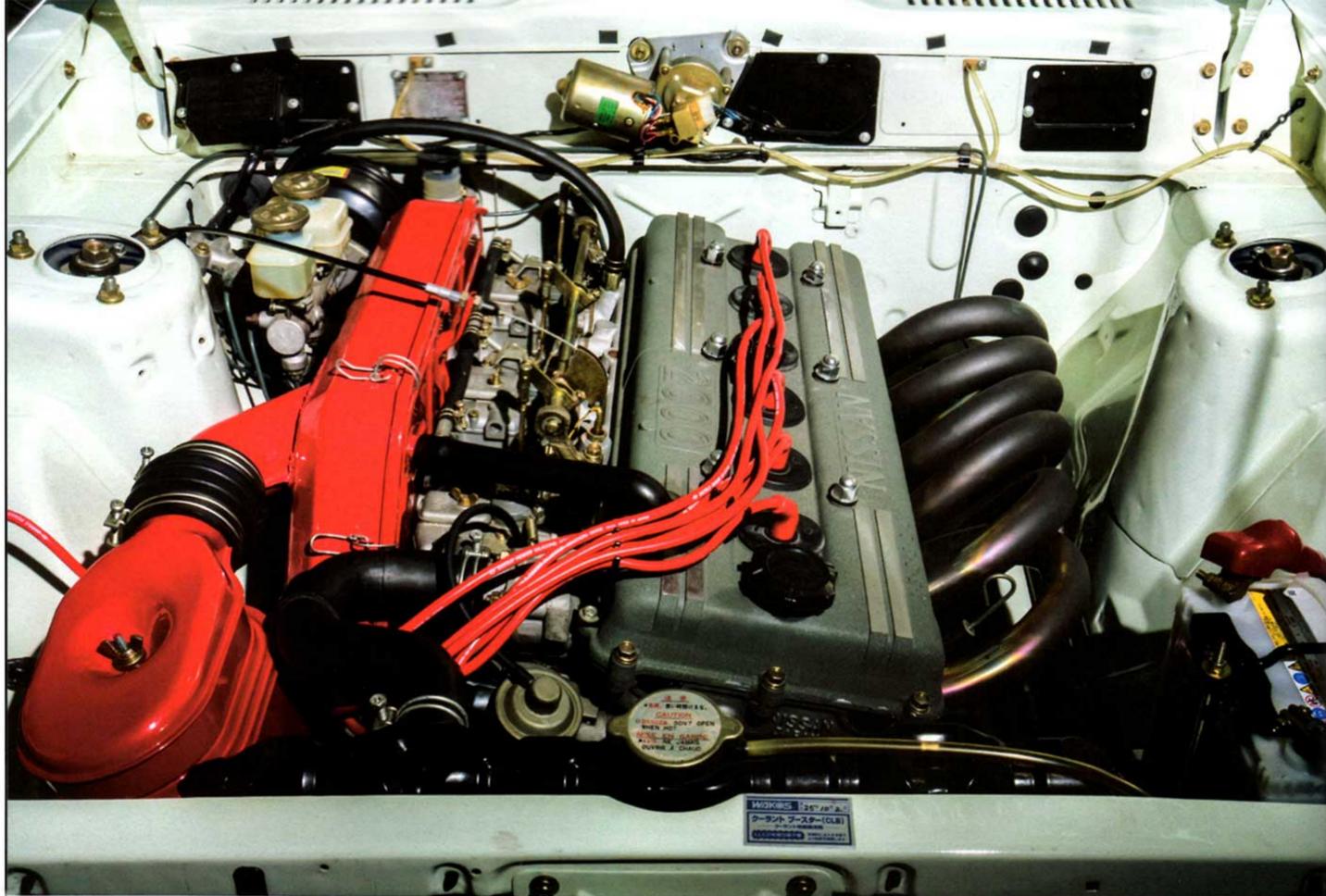
GT-Rのシートはリクライニング機構を持たないフルバケットシートが標準装備。後席にはシートごとフロント側に倒して乗り込む



トランスミッションは5速マニュアル。ウッド製でトップが赤いシフトノブはGT-R専用品となる



先代（ハコスカ）と比べて格段にスタイリッシュになったボディ形状がケンメリGT-Rの特徴。反面重量は50kg近く重くなってしまふ。透明のガラスを装着するのもGT-Rのみのディテールとなる（通常はブルーガラス）



エンジンはS20型1989cc。撮影車両は日産純正のギアトレインを装着した幻の無番ヘッドのエンジンに換装されている特別な一台。タコ足は社外品を装着する

Cピラーに備わるエンブレム(反対側は給油口となる)はGT-Rの“R”の文字が入る専用部品。通常モデルはスカイラインの“S”となる



グリルメッシュやGT-Rエンブレムだけでなく、ライトベゼルもよく見ると7色ラメの入ったGT-R専用パーツ。特別仕様の証だ



撮影車両はホイールを純正のスティール製から、ハイテレーシング製アルミホイールに変更している

VINTAGE CAR
NISSAN/SKYLINE GT-R

{ SPECIFICATION }

●サイズ：全長4460mm×全幅1695mm×全高1395mm ●ホイールベース：2610mm ●車両重量：1145kg ●エンジン：水冷4ストローク並列4気筒DOHC ●総排気量：1989cc ●最高出力：160ps/7000rpm ●最大トルク：176.5Nm/5600rpm ●トランスミッション：5速マニュアル ●サスペンション：マクファーソンストラット+コイル（フロント）、セミトレーリングアーム+コイル（リア） ●ブレーキ：ディスク（フロント&リア）

{ SHOP INFORMATION }

Rocky Auto

TEL0564-66-5488 愛知県岡崎市小美町字殿街道153

<https://rockyauto.co.jp>

この二台目GT-Rから後に現行モデルR35型まで続く丸目テールが採用される。そのためか、箱スカよりもケンメリのGT-Rにノスタルジーを感じるファンは多い



1973

model

NISSAN FAIRLADY Z

日産/フェアレディZ

足回りはワタナベの15インチとし、ブレーキも15インチが装着できる範囲でアップデートしているため、外観からはRBエンジン換装を見分けることは難しい

VINTAGE CAR_018

本物の240ZGをベースとした 快適アップデートカスタム。

Text&Photo/D.Katsumura 藤村大輔

'69年に先代ダットサン・フェアレディの後継モデルとして登場したフェアレディZは、先代までのオープンスポーツではなく、それまで日本になかった本格的なスポーツカーとして、流麗なボディラインを持つファストバックスタイルのボディを持つ。デビュー当初は2リッターエンジンのみのラインナップだった国内仕様は、'71年には北米輸出仕様だった2.4リッターエンジン搭載の240Zを国内にも投入。その中でも最高級グレードとなる240ZGは、FRP製のGノーズと呼ば

れるエアロパーツとオーバーフェンダーが標準装備となった人気のモデルだ。

撮影車両はそんな'73年式の240ZGをベースに、エンジンをRB30に換装し、6連スロットルをMOTEC M8 マネージメントシステムで制御する。エグゾーストマニフォールドも等長のステンレス製とし、これに合わせてブレーキや足回りにも手が入られ、総合的に運動性能を向上。NAエンジンならではの吹け上がりを堪能できるスポーティな一台となっている。



ロングノーズ・ショートデッキというスポーツカーのお手本のようなボディを持つフェアレディZは、今でも世界中にファンが多い



日産で「エアロダイナノーズ」と呼ばれる240Z専用の通称「Gノーズ」は、空力にも大きく寄与し、Cd値は当時としては非常に高い0.39を実現している

通常モデルと異なり、240Zにはライトカバーが標準で装着された。カバー形状は通常モデルとは異なりより流線型となる

リアスポイラーも社外品が多い中、背面右側にエンブレムが備わる純正オプションを装着しているレアな仕様



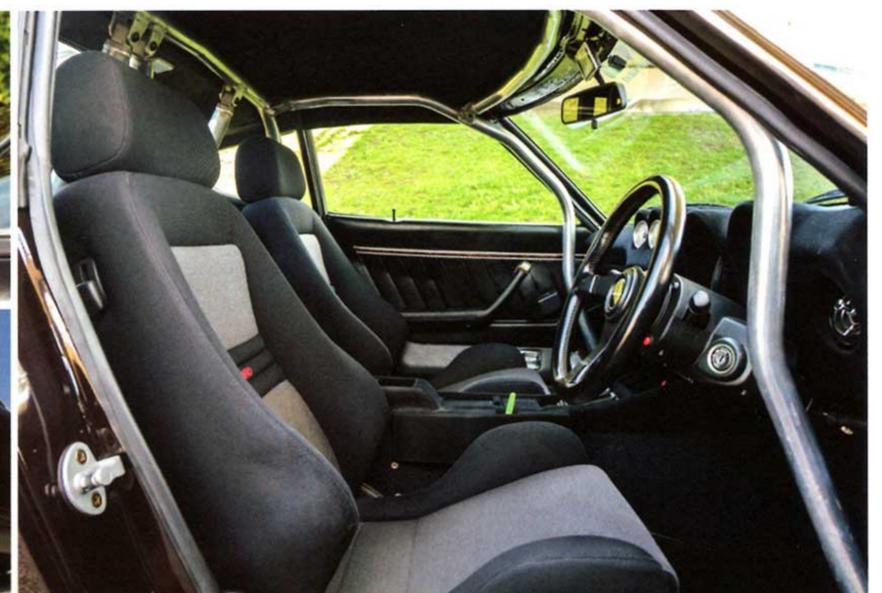
ステアリングは当時ものNARDIにDATSUNのホーンボタンを装着。タコメーターはオートメーターに交換される他、ダッシュ中央の3連メーターも現代のパーツに換装



テールランプは、この年まで通称ワンテールと呼ばれる小振りな一体型テールライトを採用。非常に人気が高い



ホイールはZの定番カスタムであるワタナベで、フロント15×9J、リア16×9.5J。ブレーキは前後ともR32スカイライン用流用でアップデートしている



シートはレカロのセミバケットに交換。車内には6点式のロールバーが張り巡らされるが、乗り降りしやすいように設置位置に工夫が施されたデザイン

エンジンはRB30ブロックにRB26ヘッドを組み合わせた3リッターのDOHCユニット。NAならではの鋭い吹け上がりとトルクフィールを味わうことができる。黄色いヘッドがレーシーな印象を醸し出す



6連スロットルに備わるファンネルが並ぶエンジンルーム。燃料供給はMO TEC M8で制御する。剛性を高めるカーボン製タワーバーも装着

VINTAGE CAR NISSAN/FAIRLADY Z

{ SPECIFICATION }

●エンジン：水冷4ストローク並列6気筒 ●総排気量：2392cc ●トランスミッション：5速マニュアル
●サスペンション：マクファーソンストラット+コイル（フロント）、マクファーソンストラット+コイル（リア） ●ブレーキ：ディスク（フロント&リア） ●ホイール：ワタナベ 15×9J（フロント）、16×9.5J（リア） ●タイヤサイズ：205/50-15（フロント）、225/50-16（リア）

{ SHOP INFORMATION }

Rocky Auto

TEL0564-66-5488 愛知県岡崎市小美町字殿街道153
<https://rockyauto.co.jp>

スタイリッシュなZのフロントフェイスがGノーズを装着することでよりスタイリッシュとなった。前後オーバーフェンダーも標準装備となる



1975

NISSAN SKYLINE GT-X

日産/スカイラインGT-X

外見はケンメリのR仕様だが、走りは全くの別もの。RB30エンジンや、マルチリンクのサスペンション、そしてR33用ブレーキによって、走る、曲がる、止まるを総合的にアップデートしている。

VINTAGE CAR_022

パワーソースだけでなく、 足まわりもアップデート。

Text&Photo/D.Katsumura 勝村大輔

'72年に登場するC110型スカイラインは、翌年初頭からたった3カ月、合計197台GT-Rを販売しただけで、発売を中止してしまう。そのためL型エンジン搭載のGT-Xなどをベースにした「R仕様」が数多く生み出された。

撮影車両もそんなGT-XのR仕様だが、実は見えない部分は、さらなるアップデートが施されている。エンジンはR32型から採用するRB系の中でもNAとしては最強のRB30ユニットに換装され、さらに足まわりもR33スカイラインのマルチリンクを移植。ブレー

キもR33用にアップデートされているため、見た目とは裏腹に現代的な走りを楽しむことができるのだ。

パワーソースをアップデートし、そのパワーに見合ったボディ補強を施し、サスペンション、ブレーキ、ホイールなどもアップデートしたものを装着する。その手法はアメリカで行われているレストモッドやプロツリーングといったカスタムと変わらない。まさに国産旧車版プロツリーングとでもいうべき一台なのだ。





テールランプやエンブレムなど、外装は完璧なR仕様となっている。スカイラインの独特なリアまわりは現行の車両にも継承されている

エンジンは6連のファンネルが並ぶスロットル仕様。エアフィルターを省略したスポーティなディテール。燃料供給はFcon V Proで制御する

ダッシュはR33スカイライン用を移植。さらにメーターはRacepak社製のマルチメーターを装備したレーシーな仕様だ

リアシートもR33から流用している。中央にスピーカーをセットしているため、乗車定員は4名となるが上質な音楽を愉しむことができる



重量バランスを考慮してバッテリーはトランク内に移設。純正のガソリンタンクはインジェクション化に合わせて配管などを加工している

シートは純正ではなく、よりホールド性の高いレカロのセミバケットタイプに変更した。レーシーな空間が広がる



エンジンはRB30ブロックにRB26ヘッドを搭載したツインカム3リッターユニットに換装。等長エグゾーストと6連スロットルスポーツインジェクションによって、鋭い吹け上がりを実現するNAエンジンとなっている

本来ベルトを使用する部分にアジャスタブルカムギアを採用することで、バルブタイミングを調整可能。これら細かなセッティングをすることで、乗りやすく吹け上りの鋭いエンジンとなっている



ブレーキは制動性を高めるためR34のゴールドブレンボを装着。ホイールはWORKマイスターS1に換装。フロント17×9J、リアに18×12Jの異径セットアップとなっている



バンパーやグリル周囲のトリムなどクロームパーツは全てリクロームもしくは新品を使用。ヘッドライトはHID化している

CピラーのエンブレムもRの文字が入るGT-R専用パーツをセット。R仕様にするためかなり細部にまで手が入っている

VINTAGE CAR
NISSAN/SKYLINE GT-X

{ SPECIFICATION }

●エンジン：水冷4ストローク並列6気筒 ●総排気量：2962cc ●トランスミッション：5速マニュアル ●サスペンション：マクファーソンストラット+コイル（フロント）、マルチリンク+コイル（リア） ●ブレーキ：ディスク（フロント&リア） ●ホイール：WORK MEISTER S1 17×9J（フロント）、18×12J（リア） ●タイヤサイズ：215/40-17（フロント）、255/35-18（リア）

{ SHOP INFORMATION }

Rocky Auto

TEL0564-66-5488 愛知県岡崎市小美町字殿街道153
<https://rockyauto.co.jp>

この角度から見えるボディ下部の赤くペイントされた部分がR32から移植されたマルチリンクサスペンションとなる。見た目とは裏腹にサスペンションは四半世紀ほど進化している



別冊 **Lightning**

Vol.165

ヴィンテージ・カーズ



エイムック3707

VINTAGE CARS

STOCK AND CUSTOM



旧くてカッコいいクルマ図鑑。